



9 29th — 12 25sun

旅する斎藤清。

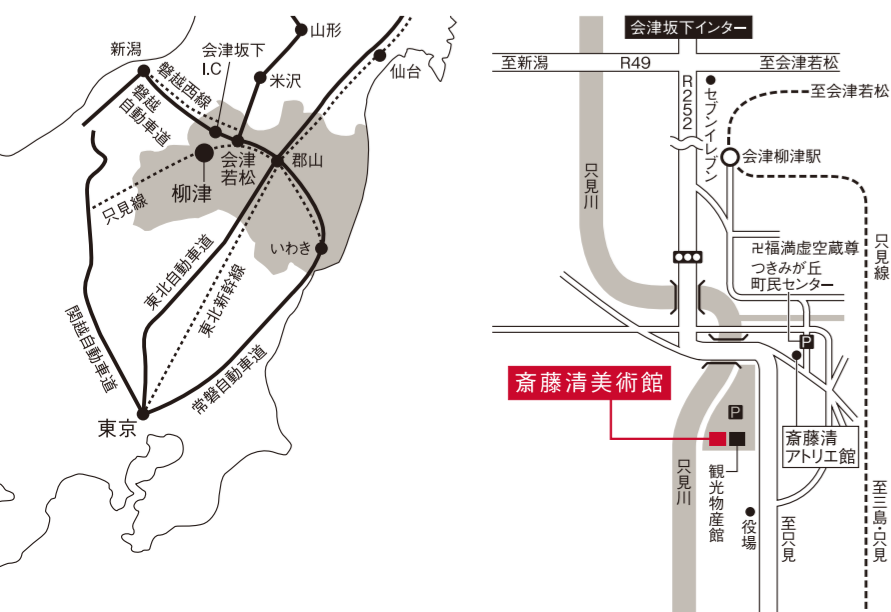
1951年、第1回サンパウロ・ビエンナーレ展にて、戦後日本人初の国際展受賞以降、海外との交流が深まり、京都をかわきりに、アメリカ、メキシコ、フランスなど世界各地を訪れ、その先々で多くの作品を手掛けるようになります。

斎藤清という旅人の眼差しは、海外の見知らぬ街の中でも、何気ない風景から唯一無二の「構図」を切り取って私たちに見せてくれます。

それぞれの旅先で、人々や造形と出会い、描き、描き、描く。

“To Travel is To Draw.”

斎藤清は「構図」を究め続ける旅人として、さらにどこへ行こうとしたのでしょうか。



【作品】パリ、朝市(1959年12月) 1989年 紙・木版

【開館時間】午前9時～午後5時(入館は午後4時30分まで) [休館日]毎週月曜日

【観覧料】一般510円(410円) 高・大学生300円(200円) 中学生以下無料(カッコ内は団体料金)

車でこ来館になる場合……………東北自動車道→磐越自動車道→会津坂下I.C→R252を柳津町方面へ約5km(道の駅 会津柳津内)
電車でこ来館になる場合(JR利用)→東京(東北新幹線)→郡山(磐越西線)→会津若松(只見線)→会津柳津